

とのおの 議会だより

No.42

2015. 7



**町民運動会に
「わんこ兄弟・うにっち」
登場!**

6月7日、晴天の下で市内一斉に開催された町民運動会に2016 希望郷いわて国体開催のPRのために、公式マスコットの「わんこ兄弟」が各会場を訪れました。会場では参加者全員で「わんこダンス」を踊ったり、競技に参加したりしながら国体開催のPRをしました。(写真は、宮守町会場)

主な内容 6月定例会

- ◆6月定例会議案審議結果等…………… 2～3 P
- ◆議会の動き・議員発議について…………… 4～5 P
- ◆市民と議会との懇談会概要について…………… 6～7 P
- ◆政務活動費の報告・市民の声…………… 8 P
- ◆調査報告…………… 9 P
- ◆視察報告…………… 10～11 P
- ◆予算等審査特別委員会質疑…………… 12～13 P
- ◆一般質問 8人が登壇 …………… 14～21 P
- ◆私のひとこと、編集後記…………… 22 P

賛否の公表

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
議員氏名	小林立栄	菊池美也	萩野幸弘	瀧本孝一	多田勉	菊池由紀夫	佐々木大三郎	菊池巳喜男	照井文雄	荒川栄悦	菊池充	瀧澤征幸	小松大成	細川幸男	浅沼幸雄	多田誠一	安部重幸
議案第37号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第43号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第44号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第45号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議案第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第48号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。○は賛成、×は反対
 ※全員賛成、または全員反対以外は、賛否の内訳を表記します。



◆ 6月定例会議案審議結果 ◆

議案名	賛成	反対
議案第37号 平成26年度遠野市一般会計補正予算(第10号)の専決処分に関し承認を求めることについて	16	1
議案第38号 遠野市市税条例等の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	16	1
議案第39号 遠野市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	16	1
議案第40号 遠野市史編さんに委員会条例の制定について	16	1
議案第41号 遠野市市税条例の一部を改正する条例の制定について	16	1
議案第42号 遠野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	16	1
議案第43号 遠野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	16	1
議案第44号 第2次遠野市総合計画基本構想の策定について	16	1
議案第45号 東日本大震災に係る原子力損害の和解に関し議決を求めることについて	14	3
議案第46号 遠野東工業団地造成工事の請負契約の締結について	16	1
議案第47号 平成27年度遠野市一般会計補正予算(第1号)	16	1
議案第48号 平成27年度遠野市一般会計補正予算(第2号)	16	1
発議案第3号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書の提出について	全員賛成	
発議案第4号 「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」の継続を求める意見書の提出について	全員賛成	

6月定例会

平成27年6月定例会が6月5日に招集され、12日までの8日間の会期で開かれました。
 今定例会では、一般質問には8人の議員が登壇し、市政を問いました。
 提案された、専決処分3件、条例4件、一般会計補正予算2件(2億2千8百万円)、その他3件の全12議案を原案のとおり可決・承認したほか、発議案2件を可決しました。

反対討論

議案第41号

政府が2016年1月から運用するマイナンバー制度は、国民一人ひとりに12桁の個人番号をつけて、社会保障や税情報などを一括管理するもので、先行して実施している諸外国では、マイナンバー制度を悪用した犯罪行為が多発し、制度の見直しや廃止がされている。
 その中で、年金機構が6月1日、年金個人情報125万件流出を公表。更に今月10日には、東京商工会議所が会員企業などの個人情報12,139件に上ると発表した。政府が安全神話のもと進めるマイナンバー制度に警鐘が打ち鳴らされたという状況である。マイナンバー制度は正に国民総背番号制度そのものであり、その危険性は明らかであり、本条

賛成討論

例案に反対する。
 小松 大成議員

日本年金機構の個人情報漏洩事件の発生原因は、職員がマニュアルや内規を無視して入力作業を行ったことによるものである。
 マイナンバー制度のメリットは、年金や納税・医療などのシステムが連結されるので、作業ミスの減少と省力化、効率化が図れる。
 また、給付や二重加算の間違いや不正受給が減り、国民にとって手続きが簡素化し、利便性が向上するので賛成する。
 佐々木 大三郎議員
 ※マイナンバー制度とは
 住民票を有する全ての方に1人1つの番号を付し、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるもの。マイナンバーは、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平かつ公正な社会を実現する社会基盤である。

請願

◆請願第1号
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2016年度政府予算に係る意見書採択の請願

〔請願者〕
岩手県教職員組合花巻遠野支部
支部長 菊池利行 ほか1名

採択

◆請願第2号
「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」継続の請願

〔請願者〕
岩手県教職員組合花巻遠野支部
支部長 菊池利行 ほか1名

採択

◆請願第3号
農協法改定をはじめとした「農業改革」に関する請願

〔請願者〕
岩手県農業協同組合労働組合
中央執行委員長 齋藤慎弘

継続審査

議員発議

今定例会では、2件の議員発議案（意見書2件）が提出されました。この2件の発議案は、請願の採択を受けて提出されたものです。

意見書

◆発議案第4号

「被災地児童生徒就学支援等臨時特例交付金」の継続を求める意見書

東日本大震災で被災をし、経済的理由により就学等が困難な子どもを対象に、国による就学支援等を行っているが、学校現場からは今年度で当交付金が終了することがないようにと制度の継続を強く望む声がある。国の集中復興期間は2015年度で終了することになっており、復興事業の見直しが検討されている中、震災被災により、経済的に困窮している家庭の子どもたちの修学・就学を保障するために、引き続き本交付金の継続を求める。

これら発議案可決により、平成27年6月12日付けで、内閣総理大臣、内閣官房庁官、文部科学大臣、総務大臣、財務大臣あてに意見書を送付しました。

全国市議会議長会表彰伝達式

〔期日〕平成27年6月30日 〔場所〕遠野市議会 議場

本市議会の議員3人が、全国市議会議長会から表彰を受けました。

今回の表彰は、全国市議会議長会表彰規程に基づき、議長4年・副議長4年、市議会議員を通算10年以上及び20年以上務めた功績によるものです。

表彰状は、6月17日に日比谷公会堂で開催された全国市議会議長会第91回定期総会で贈られ、6月30日の市議会臨時会で、議場において各議員に伝達されました。

菊池 充 議員
浅沼 幸雄 議員
新田 勝見 議員



20年表彰 議長4年 新田 勝見 議員
副議長4年 浅沼 幸雄 議員
10年表彰 菊池 充 議員

臨時会

平成27年6月臨時会が6月30日に開催されました。この臨時会では「遠野市民センター（市民会館・勤労青少年ホーム棟）改修工事の請負契約」が提案されました。

6月臨時会議案審議結果

Table with 3 columns: 議案名, 結果. Row 1: 遠野市民センター（市民会館・勤労青少年ホーム棟）改修工事の請負契約の締結について, 全員賛成

議会の動き（4～6月）

Calendar table showing council activities from April to June. Columns for 4月, 5月, 6月. Rows list dates and event names like '辞令交付式', '議員有志による友好都市行政視察', etc.

平成27年度『市民と議会との懇談会』を開催

市民と議会との懇談会を、4月21日から23日までの3日間、市内9会場で開催しました。昨年より39人多い167人（うち女性32人）の皆様から、114項目にわたる意見・提言を頂きました。（内訳7頁）これらの意見・提言は、3つの常任委員会で調査・研究を行い、市政への政策提言、要望行動につなげてまいります。承った意見等の主な内容は以下のとおりです。

遠野会場

- 会場：あえりあ遠野中ホール
- 参加者：14名
- 行政区の再編、統廃合について、次期総合計画の策定までには具体化を。
- 水力など多様な再生可能エネルギーの活用。
- 市街地の活性化を。



綾織会場

- 会場：綾織地区センター
- 参加者：18名
- 公共施設のトイレに不具合な箇所があるので改善を。
- 日中に仕事があるために、議員になることに、議員になることの障害となっているならば、夜開催の議会も検討してみてもいい。
- 合同金婚式の案内の仕方について、どのようなになされているのか。

- 除排雪困難箇所への対策を。
- 消防団員の指導、訓練の強化を。
- 地域活動の担い手の人材育成を。
- 市営住宅の修繕を計画的に。
- 防犯灯のLED化の推進。
- 水路の整備で除排雪にも活用を。



小友会場

- 会場：小友地区センター
- 参加者：15名
- 農業生産額に、大企業が行っている畜産の金額が含まれるのであれば、内訳を明確に。
- 市のホームページの更新を迅速に。公開する数字には、統計等で処理する前の生の数字もほしい。
- 児童生徒数の関係で小学校と中学校で入れ替えたスクールバスの小学生仕様への対応を。
- 老朽化している橋梁の強度調査を。
- 除染がなされていない急斜面の草地に対策を。

- 補修を要する市道のパトロールと、計画的な補修を。
- 本庁舎整備事業の進捗状況は。

附馬牛会場

- 会場：附馬牛地区センター
- 参加者：22名
- 携帯電話の通話エリア拡大を、さらに広げてほしい。
- 本庁舎整備用地は、元の場所と比較して費用はどうか。
- 木質バイオマス事業は、個人の山林の間伐材も活用するなど、個人の利益にもつながるのか。
- 早池峰バスの路線の見直しなどの今後の見直し。
- 中小零細農家を大事にする政策を求めたい。



松崎会場

- 会場：松崎地区センター
- 参加者：25名
- 34世帯80名余りが生活する住宅団地内の道路整備を要望する。
- 狭い道路の対策について、市に調査を求めたい。
- 大雨時にあふれ、水田に水が入る側溝の整備を。
- 市道の冬期間の吹きだまり対策に、ネットの設置を。
- 子どもや親が安心安全に楽しめる公園

- 環境整備を。
- 視覚障害のある人のために、議会だよりも音読してもらいたい。
- サッカー場A面は地区行事に使えないがなぜか。B面の砂ぼこり対策を。
- 市議会選挙において女性立候補者がないのは残念。

- 対策と環境の整備を。
- 公共施設のトイレに不具合な箇所があるので改善を。
- 日中に仕事があるために、議員になることに、議員になることの障害となっているならば、夜開催の議会も検討してみてもいい。
- 合同金婚式の案内の仕方について、どのようなになされているのか。

- 地区センターの機能充実により、1次産業分野の相談にも対応してほしい。
- 地区センターの正規職員配置を見直す必要はないか。
- 人口減少対策で、専門学校・専修大学の誘致等を考えるべきでは。
- 企業誘致対策で、住宅や住宅を建築し、安価に提供してほしい。
- 地区センターで一部窓口業務を行うなど機能強化・充実を。
- 原木シイタケの出荷解除の状況、山菜の問題もあるが、市内における多面的機能支払制度への取組状況は、会計事務は委託できるのか。
- 農家の嫁対策にどう取り組むか。



- 農業者の高齢化の中で、ホップ栽培への今後の取り組みは、議会における会派とはどのようなものか。

- 市民と議会との懇談会は、年2回の開催を希望する。
- 学校施設の安全面を調査し、事故の防止を図ってほしい。
- 銀河の森の展望台からの眺望の改善。
- 大洞カルスト、寺沢高原の観光資源としての整備を。
- 緑のふるさと協力隊の活動を、点から線、面に広げる取組を。
- 防犯灯のLED化に合わせ、街路組合等で管理する照明もLED化を。
- みんなで築くふるさと遠野推進事業の対象の見直しを。
- めがね橋観光お花畑構想について、検討をしていただきたい。

- 線、面に広げる取組を。
- 防犯灯のLED化に合わせ、街路組合等で管理する照明もLED化を。
- みんなで築くふるさと遠野推進事業の対象の見直しを。
- めがね橋観光お花畑構想について、検討をしていただきたい。

- シカによる被害で、真任高原の水芭蕉が少なくなっている
- ニホンジカ捕獲応援隊に、何らかの補助制度を。
- 団体リーダーの育成や、会員数の増加に取り組むべき。
- 営農組合の組織化に向けて、明確な方針やビジョンを。

- 放射能汚染でシカ肉の出荷・販売は自粛。解除に取り組み、近隣で取組んでいるジビエ料理を検討してみてもいい。
- 営農組合の組織化に向けて、明確な方針やビジョンを。

- 宮守総合支所の機能を維持してほしい。
- 宮守町内を3地区センター化する場合は、メリット、デメリットを示し、住民と議論を深めてほしい。
- 新たな地区センターの設置にあたって、正規職員を配置する

- 新たな地区センターの設置にあたって、正規職員を配置する

懇談会での意見・提言の分野別件数と主な内容		
分野別	件数	主な内容
インフラ整備	39	生活道路、橋梁、水路、除排雪、空き家、観光施設、公園
市民生活	30	行政区、消防団、人材育成、地区センターのあり方、防犯灯、子育て支援、防災、市民協働事業、公共交通
放射能対策	12	除染対策、シイタケ等出荷制限解除の取組
農畜林業	10	営農組合、多面的機能支払、後継者
産業経済	9	木質バイオマス、雇用の場、誘致企業、移住
議会	7	懇談会の開催時間・回数、広報活動
情報公開	3	ホームページの更新、多様なデータの公開
学校教育	2	土曜授業、学校施設の安全対策
選挙	2	期日前投票所の増設、女性立候補者
震災復興	1	被災者への支援に感謝
合計	114	



チップ化・保管されている汚染ホダ木

◆放射汚染された牧草の保管状況



再除染が実施された寺沢牧場の草地



放牧が再開された寺沢牧場

放射汚染された牧草は、3カ所の集中保管施設に保管されており、今回の調査では、宮守町、小友町の汚染牧草を保管している西部保管施設を調査した。

当市の汚染牧草は3施設に約1,500t搬入され、4月30日現在で770tが焼却処分され、730tほどが保管されている。

西部保管施設には、180tほどの汚染牧草がラップ化され、3つのテントに保管されていた。

ラップ化された汚染牧草は、発酵や腐れにより異臭を発生していたが、利用自粛牧草再ラップ化事業により、8月から再度ラップ化し、5年間は保管可能とのことである。

花巻市、北上市では、汚染牧草の焼却がすでに完了している。当市の清養園クリーンセンターの稼働は、平成27年9月末までとなり、9月末までの残量は、600tほどが見込まれ、新たな焼却方法等の検討が必要となっている。

【調査日】平成27年5月26日
 【調査箇所】宮守町砥森第三市有林内、寺沢牧場他
 【参加議員】全員

市政調査会5月例会と放射能汚染対策調査特別委員会を併せて実施し、放射能で汚染された原木しいたけホダ木、牧草の保管状況と再開された寺沢牧場について調査を行った。

放射能汚染牧草・ホダ木の保管状況等を調査
 市政調査会・放射能汚染対策調査特別委員会

◆放射能汚染された原木しいたけホダ木の保管状況

放射性物質濃度が指標値50Bq/Kgを超えるホダ木を収集チップ化し、袋詰めして青笹町中沢地内の市有地に保管していた。現在は、宮守町砥森第三市有林内に保管場所を45ha造成し、中沢地内市有林から保管場所を変更している。

ホダ木のチップ処理後の保管量は、平成24年度から26年度までで、ホダ木25万3,531本、重量1,604tとなっており、今後の取り組みとしては、空間放射線測定、水質調査、フレコンバック（包装）保管状況を定期的に確認しながら、焼却処分等を検討していくこととなっている。

◆寺沢牧場の放牧再開

平成24年度から寺沢牧場を皮切りに、市内全域の草地除染が行われ、平成26年度末に利用自粛対象地の耕起が完了した。寺沢牧場177haの内、10haの再除染草地があり、除染作業が行われていた。

寺沢牧場は5月22日に開放され、放牧された黒毛和種が緑の草原で育んでいた。

政務活動費を公表します

【平成26年度政務活動費執行状況（平成26年11月～平成27年3月）】

平成26年度（改選後）の議員の調査研究活動のために税金から交付される「政務活動費」を下記のとおり公表します。交付額は1人につき25,000円（総額450,000円）で、平成26年度（改選後）の執行率は92.6%でした。

●支出費目別内訳

（単位：円）

議員氏名	交付額	調査研究費	研修費	広聴費	資料作成費	資料購入費	支出合計	政務活動費 分支出額	執行率
小林立栄	25,000	23,347			24,051	4,053	51,451	25,000	100%
菊池美也	25,000	23,347	5,000				28,347	25,000	100%
萩野幸弘	25,000	21,661				6,169	27,830	25,000	100%
瀧本孝一	25,000		5,000		22,899		27,899	25,000	100%
多田勉	25,000	22,727			3,889		26,616	25,000	100%
菊池由紀夫	25,000	20,000		1,530	26,683	8,100	56,313	25,000	100%
佐々木大三郎	25,000		5,000		3,986	16,873	25,859	25,000	100%
菊池巳喜男	25,000		52,190			2,160	54,350	25,000	100%
照井文雄	25,000		11,280		20,476		31,756	25,000	100%
荒川栄悦	25,000		5,000			24,084	29,084	25,000	100%
菊池充	25,000					27,066	27,066	25,000	100%
瀧澤征幸	25,000		23,551		10,422	7,662	41,635	25,000	100%
小松大成	25,000					100,580	100,580	25,000	100%
細川幸男	25,000						0	0	0%
浅沼幸雄	25,000					27,497	27,497	25,000	100%
多田誠一	25,000	21,472					21,472	21,472	85.9%
安部重幸	25,000	21,827					21,827	21,827	87.3%
新田勝見	25,000	23,347					23,347	23,347	93.4%
合計	450,000	177,728	107,021	1,530	112,406	224,244	622,929	416,646	92.6%

※議員に交付される政務活動費は、年額60,000円ですが、昨年10月に任期満了による改選が行われたため、今回の決算では改選後の分のみを掲載しております。

※1人当たり交付額25,000円を超える支出については自己負担となっております。

「政務活動費」は、議員の調査研究、研修や市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動に充てられますが、交付額を超過して支出した場合は自己負担となります。なお、残額33,354円については、遠野市の歳入に返還されました。

市民の声

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等について一部ご紹介いたします。（なお、文章は原文のまま掲載しています。）

市政課題について、沢山の意見等が述べられ、遠野のこれからの発展に期待がかかります。人口減少は、若者が働ける雇用の場、人材の募集の増加などに力を入れてほしいです。（早瀬町 女性）

色々と多い課題があると思いますが、一つ一つの議案の可決を期待しています。（遠野町 男性）

市の中心だけが活性化して、市の外れの方は取り残されるようでさびしい。（宮守町 女性）

市内に障がい者の求人が少ないので、就業場所・障がい者の求人を増やしてください。（綾織町 女性）

友好都市 武蔵野市行政視察

【視察日程】
平成27年4月5～6日

【視察研修先】
東京都武蔵野市

【参加議員】
新田勝見
瀧澤征幸
萩野幸弘
菊池美也
小林立栄



小雨の中での武蔵野まつり式典にて

◆武蔵野まつり

市民のふるさとづくりや友好都市との交流推進を目的として開催され、今回で23回目を数える。桜は既に8割ほど散り、当日は小雨模様のため予定していたパレードは中止となったが、特設ステージには、遠野市長と議長、関係市町村の議員が大勢登壇し、会場を盛り上げた。



友好都市の食材をふんだんに使用したお弁当

心遣いが嬉しかった。

◆武蔵野市立「ひと・まち・情報 創造館武蔵野プレイス」

武蔵野市のまちづくり推進の一環として、図書館機能、生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援の機能をもった複合施設である。生活、文化、芸術、自然、歴史、まちづく



雨の中、大勢の人でにぎわった会場

り、ボランティア活動、市民活動、生涯学習、福祉、教育といった横断的な活動や交流ネットワークの活性化が図られている。

所管は武蔵野市教育委員会生涯学習スポーツ課で、公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団が指定管理を受けて運営している。職員は約100名で、収支予算(ランニングコスト)は約5億円となっている。

地上4階、地下3階の施設で、当初計画で

は年間80万人の利用を見込んでいたが、住民のニーズを的確に分析し、明確なコンセプトを持ち、施設機能を充分に引き出した管理運営で、現在の利用実績は約164万人である。

武蔵野市には、自治会という組織がないため、それに代わる組織や団体が活発に活動しており、武蔵野市ならではの発想によって造られた施設である。



ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス館内

空き家対策とリンゴによる6次産業化視察

【視察日程】
平成27年3月24日～25日

【視察研修先】
青森県弘前市

青森県・タムラファーム(株)

【参加議員】

多田勉 瀧澤征幸
新田勝見 萩野幸弘
安部重幸 多田誠一
菊池由紀夫
菊池美也
小林立栄



弘前市で空き家等の活用、適正管理について研修

◆「弘前市空き家等の活用、適正管理等に関する条例」について

人口減少と増える空き家は全国でも大きな課題である。人口18万人の弘前市は、昨年12月「弘前市空き家等の活用、適正管理等に関する条例」を施行した。

全国の空き家率は13・5%で、このまま放置すると8年後には21%まで増加すると見込まれている。弘前市は平成10年は9・6%、20年は16・4%と全国を上回る増加率。市内は豪雪ということもあり、空き家での危険家屋の増加、防災、防犯、生活環境の保全の観点から条例化を進めてきたという。

この条例の特徴は、所有者、市民、関連団体、自治組織、市民団体の責務や役割を定め、相互に協力し、

◆リンゴによる6次産業化の取組

弘前市のタムラファーム(株)の田村氏は、青果卸会社を退社し、リンゴ園3haの購入から年々増園し、同時に加工と販売に取組み、26年度のリンゴ販売「12ha・16品種」、加工品販売「5種類・16品種」と、年間1億円を売り上げ、中でも紅玉を使って通年販売しているアップルパイは1千万円を売り上げる人気商品である。

取組むことであり、空き家の発生予防、活用、適正管理、跡地の利活用である。

当市でも空き家対策にしっかりと取組み、市民の安全と財産を守っていくかなければならない。



加工品に使われるリンゴの洗浄・選果作業

高品質な加工品を作っていく」と話されていた。

和歌山県のスーパーと契約取引をするほか、個人客約千人に直販し、味の好み・希望の品種を聞き、顧客の要望に応え、併せて加工品を紹介したチラシを同封して相乗効果に繋げている。

は品質の高い加工品につながり、常に新商品を開発し消費者と常に向き合えるよう励みたい」と話されていた。

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長菊池充議員、副委員長多田勉議員）は、専決処分3件、条例4件、予算2件、その他3件について付託を受け、審議を行いました。今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全12議案が原案のとおり可決・承認されました。

第2次遠野市総合計画基本構想の策定に向けた第1次基本構想の総括は

問 いままでの実態をどう捉えるのか。

答 平成27年で10年となり、計画はほぼ100%実行された。農業はどう変わって来たかと思っ

問 関係機関・団体等が一体となってア

答 農業もこの10年でだいぶ変わってき

問 農業人口が少なく

答 だいたい変わってき

問 菌床しいたけ生産への助成と成果は

問 菌床しいたけ生産への助成と成果は

答 菌床しいたけ生産への助成と成果は

問 原木しいたけ生産への動向は

答 原木しいたけ生産への動向は

問 原木しいたけ生産への動向は

第2次遠野市総合計画基本構想
 <平成28年～平成37年>
 【将来像】 永遠の日本のふるさと遠野
 大綱1: 自然を愛し共生するまちづくり
 環境保全・インフラ・防災・防犯・交通安全
 大綱2: 健やかに人が輝くまちづくり
 保健・医療・福祉・国保・生涯スポーツ
 大綱3: 活力を創意で築くまちづくり
 農林畜産業・商工業・6次産業・観光・定住
 大綱4: ふるさとを文化を育むまちづくり
 学校教育・生涯教育・芸術文化・郷土の文化
 大綱5: みんなで考え支え合うまちづくり
 市民協働・地域づくり・男女共同参画・広報
 共通優先方針
 1. 産業振興・雇用確保
 2. 少子化対策・子育て支援
 【基本理念】 遠野スタイルの創造・発展
 地域の特性や資源を生かすこと
 自分たちのまちをより良くしようと
 行動すること
 市民が主体性を持つこと

問 後継者の育成をしながら、6次産業化の考えで販路拡大等を計画すべきと考えるか。

答 大綱ごとに考えるのではなく、重要課題は複合的に考えて、第1次産業にも取り組み、12月で披露できるようにしたい。

問 大綱それぞれの実績を踏まえた上で、第2次基本構想は市民の期待を凝縮された計画でなければならぬと思うか。

答 基本構想を踏まえて計画を審議中であり、総合的に課題を見出し、基本理念を基に計画に反映させて、12月には皆さんにお見せしたい。

問 放射性物質対策に要した費用の賠償請求は

答 東京電力(株)への損害賠償請求額は、平成23年・24年度分として、5,340万9,700円である。

問 原子力損害賠償紛争解決センターから示された和解金額1,420万円の内容は、和解案は、測定費用・機器購入費・その他経費(原木しいたけ及びホダ木処理費用・汚染牧草焼却費用等)・超過勤務手当の金額を認定している。しかし、広報経費と請求の大部分を占めた通常勤務時間内給与費

問 今年度の移住、定住の実績は。

答 昨年度は8世帯であつたが、4月から5月の2ヶ月間で、5世帯9人の移住が決まっている。

問 全国移住ナビ登録の進捗状況は。

答 総務省による全国移住情報サイト「全国移住ナビ」に、積極的に情報を載せている。今後は、中学生・高校生のアイデアを活かしながら、生き生きとしたPR動画を制作し公開していきたい。

問 宮守まちなか再生事業の内容は。

答 宮守まちなか再生事業の内容は、計画の中核施設として、m m1を取得、リニューアルし、商業スペースと図書館の移設、SL展示コーナー、

は不認定。人件費は震災前後の勤務変化を客観的に照証明する必要があり、他市町村の審理状況や顧問弁護士への意見照会等から、現実的には妥結をしなければならぬと判断をし、苦渋の決断に至ったものである。

問 今後は相手方が認めざるを得ない内容と方法を検討し請求するべきでは。

答 平成25年度分として、きちんと精査した形で3,600万

円ほどをすでに申し立て・請求している。

附馬牛診療所休診後の診療確保は

問 10月以降の休診について、その後の市民の医療確保と足の確保の見通しは。

答 休診については平成25年度当初から検討してきた。現状は患者数の減少に歯止めがかからず、更には施設の老朽化が進み、患者にとっても職員にとっても診療環境の悪化を招いている。今後、人口減少や交通事情の進展、多様化する医療ニーズ等に伴って、患者の減少は更に続くものと推測される。改築や移転、診療設備の充実等には多額の



10月から休診となる附馬牛診療所



利活用が模索され続けている旧情報ビジネス校

問 商工会等の調査で影響は無いと捉えている。

問 大手事業者の入店のメリットは。

答 公共福祉の向上と雇用確保である。

問 「ゆう遊ソフト館」の跡地利用として、若者が自由に集まれる場に活用できないか。

答 事業のソフト面での連携しながら考えたい。



萩野 幸弘 議員
(躍進とおの)

一問一答方式

一次産業の現状と六次産業化の推進状況は

問……………

本市の産業別生産額と一次産業の占める割合は。

答……………

平成24年度の数値だが、一次産業が28億円で3.8%、二次産業が262億円で36%、三次産業が447億円で60%、合計737億円となっている。

問……………

市農林水産振興ビジョン(タフ・ビジョン)の今後の方向性や数値目標

答……………

一次産業の振興、更には六次産業化につなげようという意気込みで、関係者一丸となって取り組んできた。今後より良い連携のため組織をどのようにすれば一番望ましいのか現在検討を進めている最中だ。

答……………

新たに平成28年度から5カ年の計画を策定する。特に耕畜連携強化、六次産業推進、担い手育成、農地の利用集積等に力点を置いた計画としたい。

問……………

六次産業化に伴う販路確保対策は。また、海外輸出を視野に入れる必要性は。

答……………

作っても売れなくては意味がなく、販路確保は重要だ。ふるさと公社の機能を十分發揮させるほか、海外輸出も含め、広い視野を持つて対策を講じていきたい。

遠野らしい景観形成で交流人口の拡大を

問……………

市政を運営する上で、遠野らしい景観の定義をどのようにとらえているのか。

答……………

「自然景観」「農村景観」「都市景観」の3つの領域に区分している。

問……………

遠野らしい景観を維持し、交流人口拡大につなげ、まちを活性化することも必要と考える。来年開催のいわて国体会場としてのおも

策は。てなしにかかる景観対

答……………

市民総参加でのクリンアップ活動や、国体推奨花を植えたプランター装飾等でお迎えしたい。

問……………

防犯灯等のLED化事業に合わせ、発光色を琥珀色に統一する等、考えては。

答……………

まちづくりの一環としてとらえ、検討したい。



遠野らしい景観で交流人口拡大を(写真は宮守町の寺沢高原)



小松 大成 議員
(無会派)

一括質問方式

【その他の質問】

○「安全保障関連法案」に対する市長の見解について

医療保険改革法に対する市長の見解は

問……………

今後の医療制度を根本的に転換させるといわれる医療保険改革法案が成立したが国民の理解を得て成立した制度改革とはいえない。特に国保の市町村運営から都道府県への移行は多くの問題を抱えており自治体の理解を得たものとは言い難い。この法案成立による遠野市への影響をどのように捉えているの

か、市長の見解をうかがう。

答……………

国民健康保険は国民皆保険制度の基礎として、市民の医療受診機会の確保と健康の保持・増進に寄与してきた。しかし、市町村の運営努力による制度維持は限界に達しており、遠野市も実質単年度収支がマイナスであり、赤字保険者に分類されている状況であ

る。安定した財政運営で制度を維持するためには保険者の都道府県化は避けられないものと理解している。

農業委員会法改正案に対する農業委員会会長の見解は

問……………

農業委員の公選制の廃止や、法に基づく業務の一つである行政に対する建議・諮問・意見具申を除外するなど内容をとする農業委員会法改正法案が今国会で審議されている。この問題は農地の権利に関わる権限を持つ農業委員会のあり方を根本的に変える重大な問題である。農業委員会会長の見解をうかがう。

答……………

農業委員会は、これ



農業委員会による農地パトロール

までも時代の変化に対応しつつ独立した行政委員会として、「土地と人」対策を通じて地域農業の維持・発展に取り組んできた。新制度への移行については現行農業委員の任期満了後となる経過措置が設けられる予定である。全国農業委員会系統組織が総力を挙げて、改正法に係る農業・農村現場における円滑な運用に向け国に対し要請を行ってゆく。



佐々木 大三郎 議員
(市民クラブ)

一問一答方式

防災対策について問う



自主防災訓練でAEDの取扱説明を受けている

問.....
防災マップが全戸配布されてから丸1年になるが追加や更新の考えは。

答.....
力を高めるために地域活動専門員を配置し大きな成果があった。今回、配置は解消されたが今後の対応策は。

問.....
した実践的訓練が必要では。

答.....
て、未然防止策を講ずる必要があるのでは。

問.....
自主防災組織の防災

答.....
地区センターを中心に自主防災組織が連携し、研修や訓練を強化する。

問.....
過去に氾濫被害が複数回発生している上郷町内赤羽根川について

答.....
事業費の財源確保や用地取得、家屋の移転同意など課題が多いことから、当面は洪水吐き水門の設置や河川堆積土砂の除去等の対策を講ずる。

人口減少対策について問う

問.....
人口減少対策として、何を最優先に掲げて取り組むか。

問.....
遠野市内の賃金は県内他市と比較して安い傾向にある。若者を地元に着させるには、他市並みの賃上げが必要と考える。企業トップに賃上げ要請してはどうか。

答.....
地元企業に対し、賃上げ要請は可能であるが、生活しやすい住環境も重要であることから、併せて検討したい。

問.....
空き家バンク情報の内容を充実させ、移住希望者の要望に応えられる体制を整えるべきでは。

答.....
空き家バンクの登録物件数は少なく、不十分と認識している。もっと件数を増やして移住希望者とのマッチングが円滑になるようにしたい。

認知症対策の現状と今後の方向性は

問.....
認知症の総合的な施策はどのような方向性にあるのか。

答.....
市医師会との連携や県への支援要請を行いながら、認知症サポーターの確保を図りたい。

問.....
今年4月末で、本市の65歳以上の要介護認定者は1,963名、うち、認知症の症状を有するものは、1,152名であり、58.7%を占めている。現在、本市の認知症サポーターは1名のみであり、

問.....
認知症サポーター養成は進んでいるのか。

答.....
認知症について正しい理解、偏見を持たず、認知症の方や家族を温かく見守る応援者であり、民生児童委員や地域団体等を対象に講座を開催し、平成26年度末で延べ2,266名を養成、今年、2,500名の計画である。

問.....
認知症高齢者の権利擁護対応はなされているか。

答.....
判断能力は不十分な

認知症高齢者等について、財産管理や契約行為を支援する成年後見制度の相談や虐待の早期発見、防止等の取組について地域の身近な相談窓口として設置している在宅介護支援センターを中心に実施している。また、社会福祉協議会での「日常生活自立支援事業」があり、福祉サービスの手

続や預貯金のお出し入れ等の代行を行っており、実施機関や関係者間で連携を図りながら、地域で安心して生活が出来る体制をとっている。



菊池 巳喜男 議員
(市民クラブ)

一問一答方式

【その他の質問】

- 学校教育の充実について
- 県立高校再編の状況について



平成 27 年度認知症サポーター養成講座の様子



小林 立栄 議員 (無会派)

一問一答方式

【その他の質問】

- クラウドファンディング（不特定多数の人からインターネット経由で資金を集める方法）の利用拡大について
- 若者の社会参加促進を

「がん検診」「がん教育」の充実を

問……………

女性の生命と健康な生活を守るため、子宮頸がんの原因であるHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染と、がん細胞の有無を同時に調べ、子宮頸がんになる手前で発見できる方法（細胞診とHPV検査併用法）を導入すべきでは。

答……………

がんになる確率が高いかどうかの選別ができ、確実に経過観察を

答……………

することで早期発見が可能となる。検査体制、予防措置を講ずることは大事である。受診間隔の管理など具体的な実施方法について、国としても検討段階に入り、動向を見ながら導入を考えていきたい。

問……………

胃がんの危険度を判定し、胃がんを予防・早期発見できる胃がんリスク検診の導入を。採血検査であり身体的な負担が少ないので、受診者が増えるのでは。

答……………

国としても検診のあり方について検討中であり、検証結果を踏まえ、市医師会からも指導・助言をいただきながら進めたい。

問……………

がんに関する正しい知識を学び、向き合う心を養い、命の大切さを考える「がん教育」を推進するべきでは。

答……………

効果的な指導を展開



生命と健康を守るがん検診。積極的な受診を！！

するため、文部科学省の検討会から示される教材や外部人材の活用の方などに基づくとともに、保健所・健康福祉の里と情報共有を図りながら取り組み

農産物(加工品を含む)輸出への取組について

問……………

豊かな自然環境を活かした農産物や特産品、確かな加工技術がある。地理的表示保護制度（特定の産地や伝統的な製法と結び付き、一定以上の品質基準を満たした商品を知財として国が保護する制度）を活用して更なるブランド化を図り、販路拡大、輸出に取組む考えは。

答……………

地理的表示保護制度の認証には、概ね25年間の生産継続が条件となるが、仕組みづくりを生産団体等と連携しながら模索したい。安定した生産体制を整えながら、積極果敢に取組んでいく方向で考えている。

答……………

受給されている方は、高齢化あるいは病気さらにはリストラなど、この制度に頼らざるを得ない状況であるので、丁寧に指導しながら、その方々の特性、あるいは能力など、面談等で把握しながら少しでも自立する方向に向ける努力は当然である。しかし一方においては、高齢化、病気によって、自立が困難な場合の最後のセーフティネットでもある。憲法でも保障されている生存権というものであり、安心して暮らすための生活保護制度として対応していかねければならない。状況を把握しながら、専門職のケースワーカー、あるいは民生委員の方々と連携を図りながら、少しでも自立の方向に持っていくように努力をする。（答弁部分については、広聴広報委員会で調整させていただきま

本市における生活保護家庭の現状について

問……………

以前にも尋ねましたが、生活保護家庭の現状について改めて、再度お尋ねします。

答……………

当市における生活保護の状況は、ことし3月には、保護世帯225世帯。保護人員は306人となっている。前年の3月の保護世帯は240世帯、保護人員331人と比較する



細川 幸男 議員 (無会派)

一括質問方式



専門員による生活保護と自立支援相談

と、減少傾向となっている。また、この3月末現在の当市における生活保護受給者の比率は、人口千人当たり10・78人であり、県平均の11・03人に比べると、それよりは低い数値にはなっているが県内14市の中で5番目に高い数値にもなっているという状況にある。自らの力で生活を送るという自立を促すことが極めて大事な取組であり、自立支援のた

めのさまざまな手立て、助言指導を行っている。昨年4月から就業支援員を配置し、その中で求職情報の提供や面接指導、定着支援など受給者とコミュニケーションを図りながら、様々な指導もしている。また、自立を図るうえで何が課題となっているのか、担当ケース

ワーカーが把握しながらその課題をどう解消していくかを支援方針として、組織横断的な支援体制を構築しているところでもある。さらには、生活保護に至らない生活困窮者の対応策といったようなものも改めて求められてきており、ことし4月から、生活困窮者自立支援法、といった定義で制度も打ち出され、自立相談支援事業として、2名の専門職員を配置し、こういった方々に対するきめ細かい指導を行っている。

生活保護費支給ゼロに向けた自立支援の取組は

問……………

生活保護費支給ゼロに向けた、生活保護受給者への自立支援、指導の取組は。



浅沼 幸雄 議員
(政和クラブ)

一問一答方式

【その他の質問】

○若者の定住対策について

今回の市長と語るろう会の目的は

問.....

今年度実施した市長と語るろう会の主な目的は何か。

答.....

平成27年度は、来年度からの第2次総合計画を策定しなければならぬ節目の年であり、それに向けて議会での議論はもちろぬ、市民の皆さんの意見も伺いながら計画に反映させていく為にも『平成27年度当初予算と健全財政5ヶ年計画につ

いて』『新エネルギービジョン』と「遠野市景観資源の保全と再生可能エネルギーの活用との調和に関する条例」について『地域コミュニティのあり方について』の3つをテーマに市長と語るろう会を実施した。



次期総合計画にも活かされる「市長と語るろう会」での意見・提言

問.....

高度経済成長時代のコミュニティと、これからの少子化・高齢化時代のコミュニティのあり方は、考え方を大きく変えなければならぬのではないかと。

答.....

地域コミュニティをどう守り維持していくのかが大きな課題であり、市民センターを中心とした地区センターのあり方も連動

答.....

広報遠野のコラムにも書いたが、市民の皆さまからいただいた貴重な意見・提言を、謙虚に、素直に、そして重く受け止めて、遠野スタイルの創造・発展につなげていきたい。

問.....

市長と語るろう会で市民の皆さんから出された市政課題を今後の政策にどのように活かしていくのか。

旧情ビ校の跡地利活用と宮守まちなか再生事業は

問.....

旧遠野情報ビジネス校の校舎利活用策の進展状況や今後の方向性と宮守町の活性化に向け、急ぎよ発表されたmm1の公有化を含む「宮守まちなか再生事業」の内容は。

答.....

遠野高校情報ビジネス校は、昭和23年5月「県立遠野第一高等学校校定時制分校」として発足し、全日制移行や

学科・校名変更などを経て、村民一丸で独立校への昇格実現に向けて努力してきたが、生徒の減少により平成22年3月で閉校となった。

閉校直後から市役所内の若手職員による検討などを設置して新たな活用策を議論し、5つの案に絞り込んだ中で、交通事故者矯正施設の誘致を模索したが、社会的ニーズの低下により断念し、ほかの活用案について引き

続き検討している。

平成25年度からの町づくり再生プロジェクトで、宮守町においては「mm1・道の駅整備」を含む7つの事業を掲げて計画を進めている。

合併から10年、活性化の第2ステージとして、公有化を図るmm1や道の駅を「(仮称)宮守中心市街地活性化センター」として一体的に整備し、子育て支援住宅整備、保育所・幼稚園整備、市道整備

駅前整備をそれぞれ点から線で結び、さらには情報ビジネス校跡地利活用、総合支所周辺エリアの再構築へと面の整備につなげていきたい。



瀧本 孝一 議員
(市民クラブ)

一括質問方式

高原の魅力を生かした観光地づくりの取組を

問.....

市内には景観や展望に恵まれている高原や牧場が多い。文化や地形の特性を生かし、旧村時代に開催していた「寺沢高原まつり」のようなイベントなどで魅力を発信するとともに、ネットワーキングで誘客を図る観光地づくりの考えは。

答.....

代表的なものに、荒



(仮称)宮守中心市街地活性化センターとして公有化が図られるショッピングタウンmm1

川・貞任・高清水・寺沢の各高原が挙げられ、それぞれ素晴らしい特徴を持っており、馬文化の景観地として国選定重要文化的景観に選定されている高原や、360度大パノラマの眺望可能な高原もある。これらの相互の連携を図り、高原が持っている魅力を発信することにより、新たな観光地の創出につながるものと考ええる。

わたしの ひとこと



佐々木 まゆみ さん
(附馬牛町)

神職の資格をいただき早池峰

神社に奉仕をさせていただいてから、間もなく30年になるうとしております。その頃は先代の

宮司を中心に昭和の大改修の真只中でした。初めての例祭の奉仕は忘れられません。壊れた社殿で宮司と私と参列者はほんの数人での祭りだったと記憶しています。翌年、改修は落成し、先代は数年後に帰幽、二十代で宮司を拝命してあつという間の年月でした。

私は大出で生まれ、毎日、神社の前を通って大出小中学校へ通い、神社は大きな建物で、周りも広いものと思って育ちました。しかしこの道を志してから

は違いました。

建物などの規模の大きさだけではないのです。

早池峰山の歴史信仰への奥深さ、そしてそれを変わることに守ってきた氏子の方々の思いの偉大さを感じました。昔と変わらず残っているからこそ鎮守の森であり、建物は文化財にも指定されており。その形を次の世代へ伝えていきたいと願っております。

※帰幽(きゆう)＝神道における「死去・逝去」の意味。

このコーナーは、市民の皆様のみちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載を希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

この議会だよりの中に答えがあるので、最初から最後まで読んでみてください

○欄に適切な言葉を入れてください。

- その① 希望郷いわて国体の開催は 201〇年
- その② 武蔵野まつりの開催は今回で〇回目。
- その③ 予算等審査特別委員会は議長を除く〇人の議員で構成。

とおの 議会だより クイズ

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキやメールでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。応募者の中から、抽選で3名の方にすずらん商品券 1,000 円分をお贈りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

《あて先》 〒028-0392 遠野市宮守町下宮守 29-77 遠野市議会事務局 宛

メールでも応募できます!! gikai@city.tono.iwate.jp

《しめきり》 平成 27 年 8 月 22 日 (当日消印有効)

～議会だより41号クイズの答え～ その① 210億8千万円/その② 302千円/その③ 6人

編集後記

平成27年度もスタートし、新しい職場になった人、部下を持った人や、退職をして長年のつかれを癒している人など、様々な市民生活が目に見え、感じられます。

我々議会内部でも事務局次長の異動や、長年「議会だより」の印刷を担当した方の異動がありました。

T印刷所の、その方は東日本大震災の前に3年、震災後2年休止してその後2年、計5年間、編集や印刷を担当していただきました。この間、議会改革が進行中であり、ご尽力は大であったと思います。今の市民が見やすい、カラー印刷の議会だよりができたのも前任の方々の努力によるものと思います。

今後、市民の皆様「読みやすく、わかりやすい誌面」をと、一丸となり取り組んでまいります。(文雄)

【広聴広報常任委員】				
委員長	菊池	副委員長	小池	巳喜男
委員	林	委員	立	菊池
委員	池	委員	文	池田
委員	池	委員	美	池田
委員	池	委員	也	池田

議会への提言をお待ちしております

